

第6学年1組 国語科学習指導案

平成25年 10月 31日 (木) 第3校時

児童数 男子23名 女子17名 計40名

授業者 三芳町立三芳小学校 教諭 加藤 哲郎

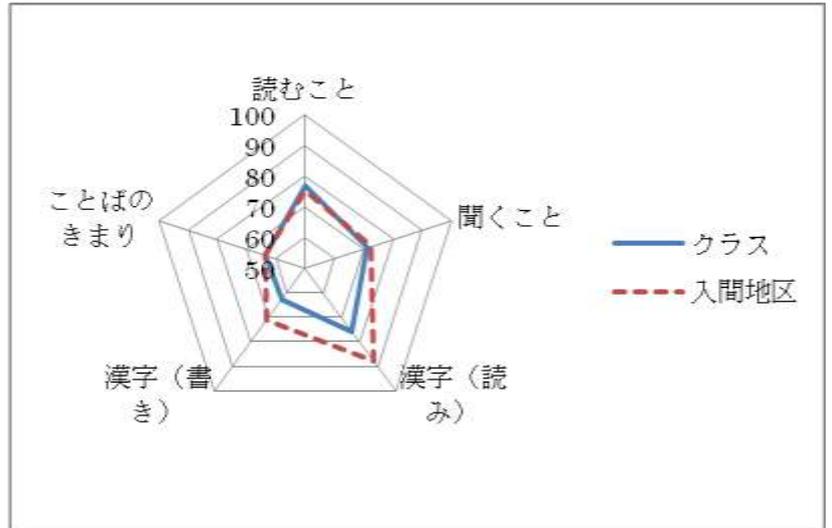
1. 単元名・教材名

『鳥獣戯画』を読む ～「私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう」～

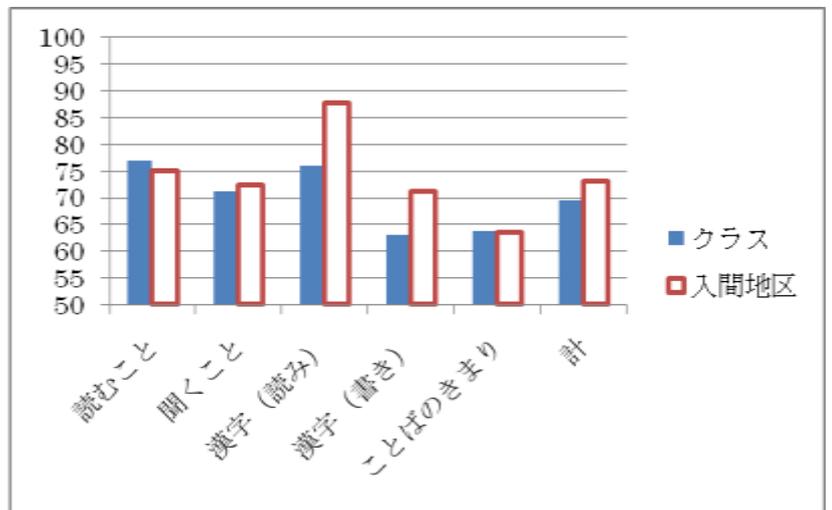
2. 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童観

| | 問題 | 学級正答数 | 学級正答率 | 地区平均 |
|---------|----|-------|-------|------|
| 読むこと | 1 | 38 | 95 | 96 |
| | 2 | 29 | 73 | 70 |
| | 3 | 24 | 60 | 65 |
| | 4 | 35 | 88 | 81 |
| | 5 | 28 | 70 | 63 |
| | 平均 | 30.8 | 77 | 75 |
| 聞くこと | 6 | 23 | 58 | 65 |
| | 7 | 34 | 85 | 80 |
| | 平均 | 28.5 | 71.3 | 72.5 |
| 漢字(読み) | 8 | 35 | 88 | 96 |
| | 9 | 31 | 78 | 87 |
| | 10 | 28 | 70 | 84 |
| | 11 | 31 | 78 | 96 |
| | 12 | 27 | 68 | 76 |
| | 平均 | 30.4 | 76 | 87.8 |
| 漢字(書き) | 13 | 32 | 80 | 81 |
| | 14 | 26 | 65 | 79 |
| | 15 | 29 | 73 | 74 |
| | 16 | 31 | 78 | 84 |
| | 17 | 8 | 20 | 38 |
| | 平均 | 25.2 | 63 | 71.2 |
| ことばのきまり | 18 | 38 | 95 | 88 |
| | 19 | 38 | 95 | 94 |
| | 20 | 27 | 68 | 64 |
| | 21 | 16 | 40 | 44 |
| | 22 | 13 | 33 | 35 |
| | 23 | 24 | 60 | 46 |
| | 24 | 12 | 30 | 45 |
| | 25 | 36 | 90 | 93 |
| | 平均 | 25.5 | 63.8 | 63.6 |
| 全体 | | 27.8 | 69.5 | 73.1 |



【H25年度入間地区学力調査結果より】



本学級の児童は、入間地区学力調査の結果から見ると、全体的に見て国語に関する能力が平均を下回る。特に漢字の読み書きや、ことばのきまりに関する問題は、正答率が軒並み低かった。普段の学習活動の様子を見ていても、「字を書く」、または「字を読む」という基本的な活動と、繰り返しの作業を伴う行為そのものに苦手意識を持っている児童が多いと感じる。これは、すべての学習の根幹

を成す能力なので、本年度は意識して取り組んできた。その結果、自信を持って読み書きができる児童も増えてきたが、全体としてはやはり、配慮を要していくべき実態と考える。

一方、「読むこと」「聞くこと」に関する問題は、一定の正答率は取れている。具体的には設問①「部分の正

学習指導要領の「C読むこと」の目標には「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」とある。内容では「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりすること。」とある。このことについて本単元では、『鳥獣戯画』を色々な角度からとらえ、評価している筆者のものの見方を読み取り、自身のものの見方も広げながら『鳥獣戯画』の評価をしていくという学習活動ができる。また「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」とある。このことについては、ウの内容も含め、「私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう」という単元を貫く言語活動を行う過程で指導できるものと考えている。

本単元を説明的文章の「読むこと」という内容で系統的に見れば、5学年で行った「天気を予想する」で筆者の説明の工夫をとらえながら読むという学習を生かす単元でもある。また、6年1学期で学習した「感情／生き物はつながりの中に」で、すでに事実と感想、意見などとの関係をおさえ、要旨をまとめていくという学習活動を行っている。また、6年2学期「やまなし／イーハトーブの夢」では、「やまなし」で感じとったことと、「イーハトーブの夢」で紹介される作者宮沢賢治の生き方や考え方を重ね合わせることをした。これは本単元の学習活動である絵と文章を対照させたり、対応させたりしながら読む活動につながっていくと考える。さらに、書く活動では「ようこそ私たちの町に」で、修学旅行で訪れる日光に関するパンフレットを作るという目的に応じた情報を収集し、文章全体の構成を考え、図やグラフを使いながら書きまとめるという学習経験をしている。今回は図や、グラフや、資料等の情報を利用して客観的事実をまとめていくという活動ではなく、筆者と自分のものの見方を比較してまとめていくが、文章構成に気をつけてわかりやすく書いていくという学習も想起させながら生かしていきたい。

教材文の構成については、初め（導入）－中－終わり（まとめ）で構成される尾括型の説明的文章である。「初め」（導入）では、実況中継風の書き出しに始まり、生き生きと躍動した絵を筆者独自の視点で解説し、読者に絵の魅力をも十分に伝えている。この段落は第1時で筆者の豊かなものの見方を十分に味わわせるのに効果的である。「中」では、さらに絵を独自の解釈を交え評価している。また、絵巻物という表現形態の評価。漫画やアニメの祖としての先進性への評価。歴史的価値としての評価も交えて読み解いている。この段落は第2～4時で具体的な評価の仕方や、表現の仕方を読み取るのに効果的である。「終わり」では、筆者が最も主張したい「人類の宝」としての『鳥獣戯画』を評価している。この段落は第5時で要旨をまとめていく段階で読み取らせていきたい。

文章全体として、アニメーション映画のプロである筆者のものの見方と、アニメーションのルーツともいえる『鳥獣戯画』などの絵巻物が伝統文化として深く息づいてきたという感動を説明している文章である。特に、漫画、アニメーションという児童の興味関心を引くテーマを扱っているという意味では、テーマとしてはわかりやすく、取っ掛かりやすい。しかし、文章表現を細かく見てみれば、一般的に小学6年生が読む文章としては難しい部類に入ると考える。ここでは、細かい文章表現よりも、むしろ絵と対応させながらかんたり、豊かな文章表現に着目したりしながら、全体として筆者の多様なものの見方を読み取ってきたい。

(3) 指導観

本単元では、単元を貫く言語活動として「私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう」を設定した。これは本学級の実態から、絵解き巻物作りという言語活動を通して、自分の読みで深まったり、広がったりした明確な考えやものの見方を適切に表現し、友達と交流するという目的のためである。では、明確な考えやものの見方を適切に表現するためには何が必要かといえば、

- a、『鳥獣戯画』の素晴らしさ（歴史的な価値や芸術的な価値）を知らなければならない。
- b、より多くの素晴らしさを見つけるためのものの見方を知らなければならない。
- c、素晴らしさを効果的に伝えるための表現の仕方を知らなければならない。

以上の観点を踏まえつつ、文章の内容も的確に捉えなければならない。つまり、言い換えると

ア、どのように『鳥獣戯画』を評価しているのか。

イ、どのような価値が『鳥獣戯画』にはあるのか。

ということである。以上の観点で内容を捉え、筆者の主張を読み取らせ、適切に自分の考えを表現させていきたい。そのために次のような指導の工夫を行ってきたい。

①単元を貫く言語活動を組み込む指導過程

『鳥獣戯画』で筆者のものの見方、表現の仕方を学んだ後で、自分自身の絵解き巻物を作っていくという言語活動を行うのではなく、より一体化し、児童に意識させるために毎時間単元を貫く言語活動を組み

込み、同時並行で指導を行う。自身の絵解き巻物を作るための、『鳥獣戯画』の読み取りという視点で授業に取り組みさせていきたい。

②意欲を高める表現物

教科書本文で筆者が解説している『鳥獣戯画』の一場面、児童は絵巻物を作るのではなく、『鳥獣戯画』の他の場面を複数枚用意し、児童に選択させ、学んだ知識を生かし、主体的に学ぶ姿勢を育てたいと考える。また、表現した文は絵巻物風に仕上げ、意欲を高めていきたい。

③グループでの学び合い

ものを見方を広げたり深めたりするための手立てとして、全校で取り組んでいる「学び合い」の学習を取り入れていきたい。国語力を考慮した2～3人のグループを作り、活発に意見を交流させながら自分の考えを深めていけるような指導形態の工夫を行う。また、全体での発表の機会は限られた人数しか与えられないが、グループで毎時間発表の機会を与え、自信をつけさせていきたい。

④比較文と対応させながらの読み取り

同じく自力解決させるための手立てとして、本文を読んだだけでは気付かない表現の特徴を浮き立たせた比較文を用意する。比較文とは教師自身が『鳥獣戯画』を読むの本文をあえて平凡に書き直した文章である。比較文と本文を読み比べることで、筆者のものの見方や、表現の特徴の仕方をより明確に理解できるように指導していきたい。

4. 単元の目標

- (1) 自分の絵解き巻物に生かすために文章を読み、自分の考え方を広げたり深めたりしようとしている。
(関心・意欲・態度)
- (2) 色々な角度からもの見方を広げ、鳥獣戯画の絵解き巻物にまとめるために、筆者の見方や表現の仕方を読み取り、自分の考えを明確にすることができる。
(読むこと)
- (3) 自分の絵解き巻物に生かすために、筆者の語彙や文体に関心を持ちながら読むことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項)

5. 単元の評価規準と学習活動における具体的評価規準

| | ア 国語への関心・意欲・態度 | エ 読むこと | オ 言語についての知識・理解・技能 |
|--------------|--|---|--|
| 単元の評価規準 | ・自分の評価文に生かすために文章を読み、自分の考え方を広げたり深めたりしようとしている。 | ・色々な角度からもの見方を広げ、鳥獣戯画の評価文にまとめるために、筆者の見方や表現の仕方を読み取り、自分の考えを明確にしている。 | ・自分の評価文に生かすために、筆者の語彙や文体に関心を持ちながら読んでいる。 |
| 学習活動に即した評価規準 | ①絵についての自分の感じ方、表現と本文を比べながら興味を持って文章を読んでいる。 ②自分の考えと、友達のことを対比させながら、意欲的に聞き、意見を交流させている。 | ①絵のどの部分を取り上げ、何に着目し、どう評価しているかについて、読み取っている。 ②読み取った筆者の評価や表現の仕方に對し、自分の考えをまとめている。 ③書き出し、文末表現、絵の出し方、漫画やアニメとの比較など、表現や構成の仕方の工夫を絵解き巻物作りに生かしている。 ④筆者が伝えたかったことと、それに対する自分の考えをまとめている。 ⑤筆者のものの見方や、表現の仕方を読み取り、自分の評価文に生かし、まとめている。 | ①文末表現や助詞の使い方などに着目し、その役割に気付いている。 |

6. 学習指導計画

| | 主な学習活動 | 学習内容 | 評価規準・方法 |
|---|--|---|--|
| 1 | <p>筆者と自分のものの見方の違いに気付こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p 133の絵を見て感じたことをノートにまとめ、筆者のものの見方や感じ方との違いに気づく。 ・学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。 <p>《筆者と自分の見方の違い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色や線や濃淡や筆運びなど細かい描写 ・様子や雰囲気人間にたとえて ・耳の先や骨格や手足や毛並み等の姿や形の正確性 ・人間ぼさと動物らしさを対比させて <p>《単元を貫く言語活動》</p> <p>私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が解説・評価したい鳥獣戯画の絵を選ぶ。 ・教師のモデル作品を読み、完成イメージを持つ。 | <p>○単元の学習予定</p> <p>○形、大きさ、色、格好に着目した絵の見方</p> <p>○筆者の絵に対する見方・感じ方と自分の感じ方との違い</p> <p>《構成の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1段落…実況中継 ・2段落…解説・解釈・評価 ・3段落…鳥獣戯画が人類の宝であることと、その理由 | <p>ア①エ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の様子や態度の観察 ・ノートの内容による考察 |
| 2 | <p>筆者は、絵の何をどのように評価しているのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を読みながら筆者の考えを要約する。 ・絵や絵巻物に対する筆者の評価に対し、自分の考えや感想をまとめる。 <p>《評価語の分類》</p> <p>① 解説「こう描かれている」→ <u>事実</u>…何を</p> <p>② 解釈「私はこう見る」→ <u>想像</u>…どう見て</p> <p>③ 評価「私はこう思う」→ <u>感想</u>…どう評価</p> <p>《言語活動への生かし方》</p> <p>～に注目してほしい。</p> <p>おそらくこれは～ということだ。</p> <p>だから私は～と思う。</p> <p>《単元を貫く言語活動》</p> <p>私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵のどういうところに注目するか考え、絵解き巻物に書きこむ。 | <p>○筆者の絵や絵巻物に対する評価</p> <p>○自分の考えのまとめ方</p> | <p>ア①エ①エ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の様子や態度の考察 ・ノートの内容による考察 |
| 3 | <p>筆者は、評価をどのような言葉で表現しているのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現や構成の工夫点を見つける。 ・なぜ筆者はそのような表現をしたのかを考える。 <p>《表現の工夫》</p> <p>① 書き出しの工夫…実況中継風</p> <p>② 文末の工夫…体言止め</p> <p>③ 文の長さの工夫…簡潔、省略</p> <p>④ その他…熟語や接続詞の使い方</p> <p>⇒ リズム</p> | <p>○表現や構成の工夫</p> | <p>ア①エ③オ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の様子や態度の考察 ・ノートの内容による考察 |

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| | <p>《単元を貫く言語活動》</p> <p>私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう</p> <p>・実況中継風の第1段落を書いてみる。</p> | | |
| ④ (本時) | <p>筆者は、評価をどのような言葉で表現しているのか考えよう。</p> <p>・表現や構成の工夫点を見つける。 ・なぜ筆者はそのような表現をしたのかを考える。</p> <p>○表現や構成の工夫</p> <p>《表現の工夫》</p> <p>① 書き出しの工夫…実況中継風 ② 文末の工夫…体言止め ③ 文の長さの工夫…簡潔、省略 ④ その他…熟語や接続詞の使い方</p> <p>⇒ リズム</p> | | <p>ア①エ③オ①</p> <p>・発表の様子や態度の考察 ・ノートの内容による考察</p> |
| | <p>《単元を貫く言語活動》</p> <p>私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう</p> <p>・文末表現等に気を付けて絵を評価する(第2段落)。</p> | | |
| 5 | <p>筆者は、なぜ人類の宝とまで評価しているのか考えよう。</p> <p>・9段落を中心に要旨をまとめ、筆者が伝えたかったことと、それに対する自分の考えを評価文のまとめとして書く。</p> <p>○要旨のまとめ方</p> <p>《まとめ方の例》</p> <p>鳥獣戯画は、国宝であるだけでなく、人類の宝なのだ。 なぜ→十二世紀という大昔に、漫画やアニメのようなモダンな絵巻物が生み出され、それから850年間、祖先たちは大切に保存し、私たちに伝えてくれた。</p> | | <p>エ④</p> <p>・発表の様子や態度の考察 ・ノートの内容による考察</p> |
| | <p>《単元を貫く言語活動》</p> <p>私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう</p> <p>・筆者の考えを踏まえて、鳥獣戯画が人類の宝である理由を自分自身の評価を交えて、まとめる。(第3段落)</p> | | |
| 6 | <p>鳥獣戯画のすばらしさを友達に伝えよう。</p> <p>・小グループ内で絵解き巻物を紹介しよう。</p> <p>○小グループ内の意見交流の仕方 ○発表の評価の仕方</p> | | <p>ア②</p> <p>・発表の様子や態度の考察 ・ノートの内容による考察</p> |

7. 本時の学習指導

(1) 目標

筆者の書き出しや、文末表現などの工夫に気付き、その効果について考え、自分の文章に生かすことができる。

(2) 評価規準

| | | |
|----------------|--------|-------------------|
| ア 国語への関心・意欲・態度 | エ 読むこと | オ 言語についての知識・理解・技能 |
|----------------|--------|-------------------|

| | | |
|--|---|---------------------------------|
| ①絵についての自分の感じ方、表現と本文を比べながら興味を持って文章を読んでいる。 | ③書き出し、文末表現、絵の出し方、漫画やアニメとの比較など、表現や構成の仕方の工夫を絵解き巻物作りに生かしている。 | ①文末表現や助詞の使い方などに着目し、その役割に気付いている。 |
|--|---|---------------------------------|

(3) 展開

| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
|---|--|---|----|
| 1 前時の学習を振り返る。 2 本時の学習の課題をつかむ。 | ○実況中継風の書き出し方 ○学習課題の確認 | ・絵解き巻物など、前時までの掲示物を確認し、振り返らせる。 | 5 |
| 筆者は、評価をどのような言葉で表現しているのか考えよう。 | | | |
| 3 違いを考えながら、黙読し、線を引く。 | ○比較の仕方 | ・筆者の表現がより特徴的にわかるよう、普通の文体に書き変えた形の文章を用意し、比べながら考えさせる。 | 10 |
| 4 線を引いたところを確認しながら、筆者の表現の特徴を考える。 | ○表現の特徴 ・文末の工夫 ・文の短さ ・呼びかけ ・省略 | ・自分が線を引いたところに注目し、何がどう違うのかを具体的に自分の言葉で説明できるように考えさせる。 | 5 |
| 5 なぜそういう表現の仕方をしているのかを考える。(その表現がどういう効果を生んでいるのかを考える。) | ○表現の効果 ・テンポの良さ ・読者を引き込む ・読みやすさ、わかりやすさ ・臨場感 | ・教師の用意した比較文と、読み比べをしたときに、どういう印象の違いがあるかを考えさせる。 | 5 |
| 6 グループで考えを交流し、検討する。 | ○グループでの話し合い方。 | ・自分が気付かなかったことや、自分とは違う考えをしている友だちと積極的に意見を交流するように指導する。 | 5 |
| 7 全体で考えを交流し、まとめる。 | ○発表の仕方 ○筆者の表現の特徴と効果 | ・友だちの考えを聞くときには、類似点や相違点に着目しながら聞くように指導する。 | 5 |
| 8 本時に学習したことを生かして、自分の『鳥獣戯画』絵解き巻物に書きこむ。 | ○ものの見方の違い ○評価の仕方 ○表現の仕方 | ・前時までの作業で進んでいる部分を確認し、本時で進める作業を理解させる。 ・本時に学んだことを生かして、表現し、前時までに学んだことを生かして、ほめるべき観点に着目していくように指導する。 | 10 |
| 私が解説する『鳥獣戯画』絵解き巻物を作ろう。 | | | |
| <p>《筆者と自分の見方の違い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色や線や濃淡や筆運びなど細かい描写 ・様子や雰囲気人間にたとえて ・耳の先や骨格や手足や毛並み等の姿や形の正確性 ・人間ぼさと動物らしさを対比させて | | <p>《構成の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1段落…実況中継 ・2段落…解説・解釈・評価 ・3段落…鳥獣戯画が人類の宝であることと、その理由 | |

| | | |
|---|---|---|
| <p>《評価語の分類》</p> <p>① 解説「こう描かれている」→ <u>事実</u>…何を</p> <p>② 解釈「私はこう見る」 → <u>想像</u>…どう見て</p> <p>③ 評価「私はこう思う」 → <u>感想</u>…どう評価</p> | <p>《言語活動への生かし方》</p> <p>～に注目してほしい。</p> <p>おそらくこれは～ということだ。</p> <p>だから私は～と思う。</p> | 5 |
| <p>《表現の工夫》</p> <p>① 書き出しの工夫…実況中継風</p> <p>② 文末の工夫…体言止め</p> <p>③ 文の長さの工夫…簡潔、省略</p> <p>④ その他…熟語や接続詞の使い方</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">リズム</div> | |
| <p>【評価場面】</p> <p>(具体の評価規準) アの① エの③ オの①</p> <p>(評価方法) 机間指導による観察 (手立て)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 筆者の表現方法を理解、活用し、うまく自分の文章に生かせない児童にはまず文末にだけ気を付けて、自分の着目した部分の評価を書くことを助言する。 • 書けている児童には、さらにインパクトを残す表現を考えさせる。 | | |
| <p>9 次時の予告を聞く。</p> | <p>• 次時は要旨を考えながら、なぜ筆者は鳥獣戯画を人類の宝とまで評価しているのかを考えることを伝える。</p> | |